

## 【日野町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることや、学習の基盤である「情報活用能力」を確かに育成できるよう、教職員の ICT 活用指導力の向上を目指す。

#### 2. GIGA 第1期の総括

GIGA スクール構想の実現に向け、タブレット端末の導入と通信ネットワークの整備を行い、令和3年度から本格的な ICT 教育をスタートするとともに、校務支援システムやデジタル教科書の導入により、ICT 環境の構築に向けた取り組みを進めてきた。

また、教職員が ICT 機器を活用できるよう支援するため、ICT サポーターを各小中学校へ配置し、授業支援や活用方法のアドバイスなど ICT 環境を効果的に活用できる体制づくりに取り組んだ。

学習面においては、授業支援ソフトの導入やデジタルドリルを導入し、児童生徒に合わせた学びが展開されるよう取り組むことで、すべての学校で ICT 機器を活用した授業が展開される環境を整えてきた。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末の積極的な活用

小中学校においては、ICT 機器を学びの道具として使用することが定着してきており、特に1人1台端末については、授業を進めるうえで必要不可欠なツールとなりつつある。

また、情報量の増加、活用場面が多様化してきていることから、さらなる ICT 環境の充実と安定した利用環境を確保することが必要となる。

特に授業支援ソフトや AI ドリル、電子黒板等の効果的な活用について、各校の1人1台端末活用推進リーダーを中心に活用方法を研究するとともに、教職員向けの研修や活用方法の共有、ICT サポーターの設置等を行い、授業での ICT を活用した指導力の向上を目指す。

##### (2) 個別最適・協働的な学びの充実

授業支援ソフト等の活用により、グループによるコミュニケーションや意見の共有など、児童生徒が積極的に授業に参加し、協働して取り組む授業展開を進めるとともに、アンケートアプリを活用した児童と教職員との意見共有など、活用場面の拡大を図る。

また、児童生徒自身の自主的、主体的な学びへと繋がるよう、デジタルドリルをはじめ、個々に合わせた学習環境の確保に努める。

### (3) 学びの保障

外国籍の児童生徒や特別な支援が必要な児童生徒や不登校の児童生徒など、多様な事情を抱えた子どもたちに対して、個々に応じた効果的な支援を行うことができるよう、ICT機器の充実を図るとともに、効果的な活用方法の検討を進める。

また、学校生活における課題や不安等に対し、素早く、適切な支援ができるよう、アンケートアプリ等を活用した教育相談の仕組みづくりを進める。